

## 政策評価調書(21年度実績)

政策名	交流を支える交通体系の充実		政策の目的等	交通基盤は、県民の産業経済活動や社会活動を支え、地域間、国際間の交流の活発化を図る基盤として、必要不可欠なものである。 西九州に比べ遅れている循環型高速交通網の整備や、体系的な道路網の整備及び鉄道、海上輸送などの多様な交通網の充実に取り組む。	主管部局名	土木建築部
	政策コード	IV-2			担当課室名	建設政策課

### 【政策を取り巻く社会経済情勢】

今後の動向	<p>道路整備等の推進は、交流、物流の円滑化はもとより産業振興の面でも重要な意味を持っている。</p> <p>―昨年、中九州横断道路の千歳―大野間、東九州自動車道の津久見―佐伯間、庄の原佐野線の大道―上野間が開通し、着実に事業進捗が図られているが、観光振興や企業誘致等の地域振興支援には、循環型の高速度交通網の整備が必要であり、地元と関係機関一体となって建設促進に取り組む事が重要となっている。</p> <p>一方、公共交通機関の利用は減少傾向にあり、今後も厳しい状況が続くことが予想される中で、利用者数の維持とともに小規模集落などを含む地域の移動手段の確保も求められている。</p>
-------	--

### 【政策を構成する施策の評価結果】

施策名		評価結果		政策との関連度
		業績評価	主管部局評価	
1	広域交通網の整備推進	概ね達成	拡充	◎
2	地域生活交通システムの形成	達成	現状維持	○

### 【構成する施策に対する意見・提言】

<p>○県政ふれあいトークでの提言</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大分の道路は中心地から放射線状に走っており、ラッシュで車の動きが悪い。大分市の中心地を通らない別ルートの将来構想はないだろうか。</li> <li>・歩道が未整備のところは全部、徒歩通学。車の台数も結構多く危険な状態なので、早急に県道の補修整備をお願いしたい。</li> <li>・車道と歩道を仕切るガードレールを設置してもらえば、お年寄りのシニアカーの運転も安心だ。</li> </ul>	<p>○県政モニターからの提言</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大分空港利用者が年々減少傾向にあるとの記事を見た。景気低迷も利用者減少の一因に挙げられているが、利用者にとって魅力ある大分空港に改善されなければ前進しない。</li> <li>・ホーバーフェリーが10月末で運行休止になり、特に大分の東側は便利が悪くなった。</li> <li>・「コンクリートから人へ」を基に予算編成を行うのに賛同するが、地方のインフラ整備は遅れているので一刻も早く事業を遂行してほしい。</li> <li>・有料道路の無料化はすばらしいことだが、今後の維持・管理はどうなるだろうか。</li> </ul>
---	---